

事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和5年 2月 8日

事業所名 児童発達支援事業所ベリー

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・午前中は戸外活動や園庭遊び、午後は2グループに分かれて2部屋を使いスペースを確保しています。	
	2	職員の配置数は適切である	○		・児童10人に対し指導員2人以上と言う国の人員配置基準以上の配置を常に行い、児童10人に対し職員6人の配置をしています。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		・活動する部屋、食事をする部屋、手洗いをする場所、トイレなどそれぞれ区切られており分かりやすくなっています。 ・活動内容によって部屋を分けたり、間仕切りをしたりしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		・毎日の清掃、玩具や備品についてはアルコール消毒を行い、清潔な環境を心掛けています。 ・感染症対策として、施設内の手の触れる場所のアルコール消毒や定期的な換気を行っています。 ・常時空気清浄機をつけ、冬季は加湿器を設置しています。 ・支援前後の清掃に加え、昼食前後、おやつ前後の清掃消毒も行っている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		・PDCAサイクルを心掛け、支援前後には毎日ミーティングを行い、月に1度は全体ミーティングを行っています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		・保護者の方々の意向を把握し、検討、改善に努めています。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		・評価結果は、ベリー玄関内及びホームページに掲示します。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	・現在は利用者と社内の評価のみになっています。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・社内研修や外部研修を職員が受講し、支援の質を高められるようにしています。	
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		・契約時に保護者からニーズを把握したり、行動観察等踏まえ個別支援計画を作成しています。外部でとった発達検査結果の発達状況や、併用している関係機関での様子を把握し支援計画に生かしています。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		・太田ステージを参考にしています。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		・児童発達支援管理責任者が保護者面談をもとに支援計画を作成し、それをベースに職員間でミーティングを行い、子供の発達の様子や必要事項を確認の上、支援内容を設定しています。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		・ミーティング等で全職員に周知し、個別支援計画に沿った支援を心掛けています。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・主任を中心に保育士等が活動の目的や子供の様子に合わせ参画、立案しています。 ・個別での課題内容やプログラム等、職員間で話し合い目標が把握できるように記録しています。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・戸外活動、公民館でのリトミックや粗大運動、個別課題、製作、感覚遊び、音楽療法等、日替わり週替わりの活動となるように設定しています。発達状況に応じ活動内容も変化させています。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成している	○		・一人一人の発達に応じ、個別課題、集団適応、社会性の課題等、支援計画に入れています。 ・年長児の多い曜日は、グループワーク(意見を出し合い活動をしていく)グループと、自立活動を行うグループに分けての活動も行い、就学に向けた取り組みをしている。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・朝のミーティングを毎日行い、活動内容や支援方法、注意点、職員の役割分担等を確認しています。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・毎日支援後のミーティングを行い記録に残し、当日支援に入らなかった職員も共有できるように、後日確認してから支援に入るようにしています。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・個別支援計画の課題や状況、その日の様子、支援の振り返りを行いながら、日々支援日誌に記録しています。それらを次回の個別支援計画へつなげていきます。	
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		・おおむね6ヶ月に一度、見直しを行い職員間で話し合い判断しています。	
	関係機関	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		・会議については、児童発達支援管理責任者、管理者、主任、保育士等、適任者を選んで出席しています。
22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		○		・幼稚園、保育園、その子ども課と連携し情報交換をしています。	
23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている					

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関 や 保 護 者 と の 連 携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・移行先や保護者の要望に応じ、必要ある場合に行っています。 ・保護者の要望に応じて、サポートシートを活用し情報提供を行っています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・保護者の要望に応じて、入学時前にサポートシートを届け情報提供を行っています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		・他事業所主催の研修会に参加しています。 ・併用している他事業所と情報交換等行っています。 ・自立支援協議会に参加し、専門機関と連携し、勉強会等を行っている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	・今年度はコロナ禍の為、中止になりましたが、来年度については交流が可能になった場合に行いたいと思います。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子どもの子育て会議等へ積極的に参加している	○		・館林市外五町自立支援協議会に児童発達支援管理責任者が出席しています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・お迎え時に1日の様子を伝えて、保護者からのお話も伺い、課題や成長について共通理解を持ち解決に向けて話し合っています。 ・連絡帳を通して、お家での様子やベリーでの様子を伝えあっています。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		・ペアトレの保護者向け研修は行っていませんが、面談や送迎の際にお子様への対応などのアドバイス等お伝えできるように心掛けています。 ・ペアトレの研修会に参加した職員が、保護者向け研修ができるように準備を進めています。
保 護 者 へ	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		・契約時に説明を行っています。ご不明な点は随時ご説明できるようにしています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		・おおむね6ヶ月を目安にモニタリングを行い、見直し、計画の変更、ご説明をし同意を得ています。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・モニタリングや送迎の時、その他必要な時に対応し、解決方法を見出ししていくようにしています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	・父母の会はありません。今年度はコロナ禍の為できませんでしたが、土曜開所の際に保護者同士が交流する機会を今後は設けていきたいと思っています。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
の 説明 責任 等	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		・相談や申し入れがあった場合、速やかに電話や面談にて適切に対応する様に努めています。 ・苦情受付、解決担当者は重要事項説明書に記載し、契約時に説明、同意を得ています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・毎月ルアナのお便りを発行し、行事の様子や連絡等お伝えしています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		・個人情報に記載された書類については鍵付きの書庫に保管しています。 ・個人情報が載っている資料はシュレッダーにかけることを徹底しています。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		・写真や絵カード、言葉とともにジェスチャーを使用し、分かりやすい視覚支援等伝達方法を工夫しています。 ・その日の予定をボードに写真で貼り、目で見て分かるようにしています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	・行っていません。	
非 常 時 等 の 対 応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		・対応マニュアル等掲示し、職員への周知を行っています。 ・外部講師を招いての職員の研修を行っている。 ・月に一度、利用者を含めた訓練をしている。 ・保護者に対して、ルアナのお便りにて報告・お知らせしています。	・感染症対策マニュアルは令和5年度中に策定予定。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		・毎月、子供にも分かりやすくわかるように紙芝居や絵本を通して、説明し、落ち着いて訓練に参加できるように実施しています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		・契約時に確認しています。 ・服薬する場合は、その都度、投薬用紙を提出していただきそれに基づき行っています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている			・契約時に確認しています。該当時には適切に対応しています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		・ヒヤリハット事例があった場合、報告書に記入し、ミーティングを通して職員間で話し合い、対応策を共有しています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		・虐待防止委員会を設置し、適宜報告会議を行っています。 ・外部の研修に参加したり、社内研修を行ったりしています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		・身体拘束に関しては、利用者本人の生命や身体を保護するため緊急を要する場合に、切迫性・非代替性・一時性であることを条件に行うことを職員間での共通認識として、行った場合には記録を残すことにしています。 ・対象児童がいる場合は、組織的に決定し、個別支援計画に記載することになっています。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。